

グリーンフェスティバル

＜グリーンフェスティバルとは＞

神戸学院大学では、1988 年（昭和 63 年春）に約 700 名収容のホールが有瀬キャンパスに完成したのを機に、地域住民に無料で一流の舞台芸術に接してもらうべく、毎年春と秋に“グリーンフェスティバル”を行っており、今年で 25 年目となります。内容は世界の古典および現代音楽、日本の古典芸能、現代の演劇を中心に国内外のアーティストを招き、2012 年 10 月 13 日の公演で通算 330 回、来場者はのべ 15 万人以上となっています。本学教員がアーティストとの出演交渉を行い、多数の著名な方に出演していただいています。音楽コンサートでは曲目の選定においてもオリジナリティーを演出し、また、企画面において従来のコンサートではあまり類のない、会場の声を反映させた出演者インタビューで客席との交流をはかり好評を得ています。また出演者の経歴・曲目の他に「おんがくのわだい」と称した音楽の知識をわかりやすく記したプログラムを作成するなど、大学で開催する特色を十分に生かしています。また、近隣に同種の催しがなくともあり、大学における地域貢献として高く評価されています。



＜1988 年 4 月 23 日 大阪フィルハーモニー交響楽団＞



＜2001 年 6 月 18 日 大連京劇公演＞

[illegible]

＜2009 年 12 月 21 日 演劇公演「天国の隣」（日本初演）＞

＜年に2回、春季と秋季にプログラムを実施＞

＜子どもの健やかな育ち＞のための 大学の持つ機能と地域連携を活かす方策の再検討

＜子育て支援にかかる事業について＞

神戸学院大学人文学部人間心理学科発達心理学領域では、地域連携による「子育てサロン」「母と子のアートであそぼう」「保育園実習」といった学生実習と子育て支援を兼ねる事業を実施してきました。また、その他にも人間心理学科学部・大学院合同で子育て支援フォーラムや各種講演会にも参加してきました。そして教員・学生・保護者・関係機関の方々とその都度相談して、改善を加えてきました。しかしこれまでの事業関係者のみではなく、広く行政、地域施設（保育園）、NPOなどの諸団体、一般地域市民の方々と一堂に会して、大学機能と地域連携に関する熟慮・議論の機会を得て、大学と地域の相互充実と今後の共生・協働のあるべき姿を探りたいと考えました。

プログラム

＜子育てサロン＞

毎週水曜日午後 1 時～ 3 時 本学有瀬キャンパスの 14 号館3階の行動観察室において「絵本の世界を楽しもう！」「つくってあそぼう♪」「からだをうごかそう！」「音であそぼう♪」などのテーマで、地域の保護者の方と子ども（就学前児）と学生・大学院生とともに時間を過ごしています。また、その中で、担当教員が必要に応じて保護者の子育て相談に応じています。



＜母と子のアートで遊ぼう＞

毎週第 3 金曜日午後 1 時～ 2 時（変更予定）本学有瀬キャンパス 7 号館 3 階の心理臨床カウンセリングセンタープレイルームで、地域の保護者と子ども（就学前児）と大学院生がともに時間を過ごし、担当教員がサポートしています。体操、描画、絵本などアートを楽しむプログラムです。



<子どもの健やかな育ち>のための 大学の持つ機能と地域連携を活かす方策の再検討

プログラム

<保育園実習>

保育園に学生が実習に出かけて遊んだり、絵本を読み聞かせたり、大学に子どもを迎えてスポーツしたり、園長先生の講義などから、乳幼児と接する際の情報や技術を得る機会を持つプログラムです。



<子育て支援フォーラム・講演会の開催>

人間文化学研究科臨床心理学系大学院や臨床心理カウンセリングセンターと共催で、子育て支援フォーラムや文部科学省地域研究の各種の子育て支援講演会などを開催しています。



<兵庫県による「まちの寺子屋師範塾」参画>

今年は「神院大発・子育てサポーター養成講座（全6回）」を開催予定です。学生の参加もあります。



<絵本の中の食育>



<子育て支援活動をしている先輩から学ぶ>



<地域の中の子育て支援を考える>

神戸学院大学アメリカンフットボール ジュニアクラブ

地域連携・地域貢献を目的として、2012年4月に大学所属のアメリカンフットボール ジュニアクラブとしては、日本では初めての事例として設立！

アメリカンフットボール競技を通じて、地域の子供たちに健康で明るく、人間的に豊かに成長、発展していくことを目的としており、防具は、チームから貸し出すことにより、地域の子供たちに参加しやすい環境を用意しています。

チェスナットリーグ（日本少年アメリカンフットボール協会）の理念である「スーパースターを育てる技術指導の場ではなく、さんさんとふりそぐ太陽のもとで思いっきり体を動かし、フットボールを通じて思いやりやボールを前進させるための一致団結したチームワークなどによる協調性、正々堂々と戦うフェアな精神などを養う場にする。」を基本として、毎週日曜日の午前中に神戸市西区伊川谷町南別府にある本学第6グラウンドで練習を実施しています。

また、勝利主義を目指さないためにも7月と1月・2月をシーズンオフとして年間9か月の活動期間を原則とします。



＜ブロックの練習をする子どもたち＞



＜アジリティーの練習をする子どもたち＞

指導者は、本学アメリカンフットボール部のOBを中心に指導をおこない、ボランティアでチームドクターと学生トレーナー部から1名参加しています。その他大学生たちは、スポーツマネジメントユニット生の国内実習として認められており、その実習やアメリカンフットボール部員の体験教育の一環として指導補助を実施しています。これによって、大学生たちの子供たちの育成に参加することによって可能となる自身の人間性の向上に繋がっています。

神戸学院大学アメリカンフットボール ジュニアクラブ

～その他の活動～

＜湾岸交流会＞

毎年3月に神戸学院大学のポートアイランドキャンパスで開催している、神戸学院大学アメリカンフットボール部と住吉川86スコープオンとの湾岸交流会に新たにジュニアクラブが参加することで、交流の場がさらに発展していくことも期待されます。



＜住吉川 86 スコーピオンとの湾岸交流試合＞



＜地域の子どもたちがスパイラル・アタックに挑戦＞

＜伊川谷リバーフェスタ＞

地域交流として、2012年8月4日にジュニアクラブメンバーとその保護者、大学のアメリカンフットボール部員の合計35名で伊川谷リバーフェスタに参加し、ボランティア活動や遊びを通じて、地域との交流を計りました。



＜クリーン作戦に参加（地域清掃ボランティア）＞



＜ジュニアクラブに所属する選手（子どもたち）＞

2012 年度チェスナットリーグに準加盟！

来年までにメンバーを増やし、来秋にはリーグ戦に参加することにより、子供たちがゲームの楽しさを体感できることを願って活動しています。また、このクラブは伊川谷を中心とした地域交流を積極的に取り組むことを方針としており、子供たちに地域への愛着を宿すことにも視野にいれて活動しています。

将来、本学アメリカンフットボール部、ジュニアクラブともに地域に愛されるチームになれることを最終目標と考え、取り組んでいきます。

チャリティ「フラッグフットボール港島カップ」

～子どもたちにスポーツの素晴らしさや楽しさを知ってもらうために～

チャリティ「フラッグフットボール 港島カップ」とは 神戸学院大学 学際教育機構 スポーツマネージメントユニットが開催する行事「スポーツフェスタ」の中でアメリカンフットボールを題材としたプログラムです。地域貢献の一環として、子どもたちにスポーツの素晴らしさや楽しさを知ってもらうために企画実施しています。

チャリティ「フラッグフットボール 港島カップ」は、スポーツマネージメントユニット生、アメリカンフットボール部、VAF(神戸学院大学ボランティア活動基金)、学生トレーナー部とアメリカンフットボール部OB会が運営しています。フラッグフットボールとは、アメリカンフットボールを基に米国で考案されたスポーツで小学校の新・学習指導要領にも登場した競技です。本学ポートアイランドキャンパス内の人工芝グラウンドで毎年2月に大会を開催しており、神戸市教育委員会と日本フラッグフットボール協会西日本支部に後援をいただいています。



＜フラッグフットボールの試合に熱中する子どもたち＞



＜アメリカンフットボールを体験する子どもたち＞

参加対象は神戸市中央区と灘区の小学生1年生～6年生と小学生のクラブチームを招待しており、神戸市立小学校には、大会までに大学生たちが小学校を2回訪問してフラッグフットボールの指導を行います。

当日は、各チーム対抗のリーグ戦を行います。大学生たちはコーチ、審判、誘導、給水係りや進行係りなどに分担して大会を運営します。また、試合の周辺では、アメリカンフットボール体験会として、パスやキックやアジリティランとVAFの展示パネルなどが体験出来ます。

ハーフタイムショーでは、カンボジアの留学生とVAFによるクイズ大会を企画いたしまして、子供たちにスポーツだけではなく、海外の文化の紹介も行っています。また、同時にVAFの学生たちが、カンボジアの子供たちの識字教育の教材として、不要になった絵本を回収や、パネルの展示などを行っています。

★2012年2月12日に開催した第3回港島カップでは、8団体143名の小学生を招待しました。